

1. 科目名 (単位数)	会計学 (2 単位)	3. 科目番号	SBMP2131						
2. 授業担当教員	喬 雪氷								
4. 授業形態	講義が中心となるが、講師からの一方通行ではなく、ディスカッション (学生からの講師への質問、学生間のディスカッション等) を伴ったものにする。	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係	「簿記」履修後、「会計学」を履修すると理解力は増大する。								
7. 講義概要	近年の会計制度の状況を踏まえ、会計学の基礎的な理論を把握するのがこの授業の目的である。財務会計の目的は、会計の財務状況を投資家などの利害関係者に知らせるものであり、そのために、会計の基礎概念、財務諸表の作成ルール、現金、手形、商品取引、資金調達、収益と費用、決算手続等についても解説を加える。財務諸表の利用者 (債権者や株主などの利害関係者)、経営者の会計に関する行動などについても解説を加える。将来、就職した先や自分で立ち上げる事業所等の経営に役立てるようにする。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個人商店や会社について、その財政状態や経営成績を表す財務諸表の読み方を知り、説明できる。 2. 収益と費用と測定して利益を計上するという過程の基礎にある会計理論を学び、説明できる。 3. 資産項目、負債項目、資本項目の課題と評価について理解し、説明できる。 4. 会計情報を活用した経営改善について理解し、説明できる。 								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	アサインメントを課すことはないが、年末年始休暇中の課題レポートは授業内で指示する。								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】天野敦之著、『会計のことが面白いほどわかる本』、中経出版、2006 年。								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. テキストの輪読を通じて、会計学の基礎知識が理解できているか。 2. レポート課題に対して的確に検討し、会計情報を活用した経営判断ができるようになっているか。 3. 期末試験を通じて、会計用語等を理解し、説明できるようになっているか。 <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>2. レポート</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3. 期末試験</td> <td>総合点の 60%</td> </tr> </table>			1. 授業への積極的参加	総合点の 10%	2. レポート	総合点の 30%	3. 期末試験	総合点の 60%
1. 授業への積極的参加	総合点の 10%								
2. レポート	総合点の 30%								
3. 期末試験	総合点の 60%								
12. 受講生へのメッセージ	「事業の言語」である会計は、本質的に世界に通用するものである。会計言語を知らずして、経済や産業、企業を深く分析することはできない。会計に関わる基礎知識をこの授業を通じて説明していく。								
13. オフィスアワー	別途通知する								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	ガイダンス、株式会社の仕組み	事前学習	教科書 pp. 9～24 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 2 回	株価・お金を儲けるとは・会計の役割	事前学習	教科書 pp. 26～47 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 3 回	会計と企業経営	事前学習	教科書 pp. 49～60 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 4 回	会社の取引、複式簿記	事前学習	教科書 pp. 61～76 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 5 回	財務諸表の各要素	事前学習	教科書 pp. 77～92 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 6 回	財務諸表の構造	事前学習	教科書 pp. 93～112 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 7 回	発生主義・実現主義・対応の原則など	事前学習	教科書 pp. 113～144 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 8 回	資産と費用・引当金など	事前学習	教科書 pp. 145～162 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 9 回	取得原価・時価・実現主義など	事前学習	教科書 pp. 163～180 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 10 回	有価証券・金銭債権の評価・減損処理	事前学習	教科書 pp. 180～202 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 11 回	回転率・有形固定資産・無形固定資産など	事前学習	教科書 pp. 202～228 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 12 回	負債・比率・安全性など	事前学習	教科書 pp. 228～255 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 13 回	損益計算書の仕組み	事前学習	教科書 pp. 257～272 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 14 回	ROA・ROE・損益分岐点など	事前学習	教科書 pp. 272～292 を予習すること						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
第 15 回	まとめ	事前学習	全体の復習						
		事後学習	本日の内容を復習すること						
期末試験 (記述式の試験を実施する)									

